

ゴム練りの本質を原点から考える

第247回ゴム技術シンポジウム

『ゴム練りの基礎から実践へⅡ ～練りの原点から始める～』

主催：一般社団法人日本ゴム協会 研究部会・ゴム練り研究分科会

協賛：高分子学会，日本化学会，日本合成樹脂技術協会，日本材料学会，プラスチック成形加工学会（予定・順不同）

今回のゴム技術シンポジウムは，ゴム検査評価企業，ゴム練り機械メーカー，ポリマーメーカー，ゴム練り専門メーカー，ゴム加工メーカー，などの経験豊かな，多彩な講師陣による基礎から実践への，より現場に踏み込んだ，講演を予定しています。ゴム練りの改善，向上に取り組まれている第一線の現場技術者はもとより，ゴム練りに関心のある全ての方々のご参加をお待ちしています。

日時：2018年10月4日（木）10：45～16：50

2018年10月5日（金）9：40～16：40

場所：東京電業会館 地下ホール（東京都港区元赤坂1-4-8 TEL：03-3403-5181代）

受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員29,160円，日本ゴム協会学生会員5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 14,580円（60歳以上の正会員）会員外 37,800円

受講料には消費税・テキスト代を含みます。

申込方法：弊会ホームページ<http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください（定員60名）。

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第247回ゴム技術シンポジウム係

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03 (3401) 2957 FAX 03 (3401) 4143 E-mail : kenkyuubukai@srij.or.jp

演 題	講 師・座 長
10月4日（木）	
10：45～10：50 開会のあいさつ	ゴム練り研究分科会主査 藤 道治 【座長】藤 道治
10：55～11：35 ゴム練りのトラブルとその対策（仮題）	浜田技術士事務所 濱田 裕氏
11：45～12：40 練りの原点 オープンロールの練り（動画）	（一財）化学物質評価研究機構 隠塚 裕之氏 【座長】尾崎 航平
13：30～14：30 ニーダーとオープンロールのゴム練りの違い（仮題）	日本スピンドル製造（株）岡本 浩二氏
14：40～15：40 動的粘弾性による新しい架橋型熱可塑性エラストマーの評価方法（仮題）	鬼怒川ゴム工業（株）眞中 将一氏
15：50～16：50 ニーダーのメンテナンスとトラブル対策（仮題）	一瀬 省吾氏
10月5日（金）	
9：40～10：40 フッ素ゴムAFLAS，FFKMと練り（仮題）	【座長】関口 晃司 AGC旭硝子株式会社 八木 啓介氏
10：50～11：50 インターナルミキサーの練り（仮題）	株式会社神戸製鋼所 山根 泰明氏
12：40～13：40 連続押出プロセスによる合成ゴム材料の脱揮・脱水技術 合成ゴムのボールやクラム製造プロセスでも特有の混練技術を必要とします。 特に，合成時の残渣である有機溶剤やモノマーを除去する脱揮や脱水は，最終的なゴム製品の臭気や弾性率に大きな影響を与えるため，特有の技術を要します。 本講演では，脱揮・脱水技術を中心としたゴム原料の製造プロセスについて説明するとともに，ボールやクラム（ペレット）を製造するそれぞれの手法について紹介を行います。	【座長】高山 正人 株式会社日本製鋼所 富山 秀樹氏
13：50～14：50 混練工程の管理ポイント（仮題）	元（株）エラストミックス 泉 信示氏
15：05～16：40 質疑応答	司会 小葉 次郎
16：40～16：45 閉会のあいさつ	ゴム練り研究分科会 副主査 一瀬 省吾

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ<http://www.srij.or.jp/>からお願いします。